

Rotary



人類に
奉仕する
ロータリー

RI会長 ジョン・ジャーム
第2590地区ガバナー 高良 明
No.2126 MARCH.14 2017



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARYCLUB/FOUNDED 1972.7.15

【会長テーマ】： 会 員 増 強 と ロ ー タ リ ー を 学 び 、 我 が 奉 仕

会 長	富岡 昭一
副 会 長	内藤 幸彦
幹 事	渡邊 新治
S A A	長戸 隆彦
会報委員長	叶野 聡

2016~2017

第 2146 回例会

平成 29 年 3 月 14 日

例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘
 例会場 川崎市中原区小杉町 3-10
 ホテル精養軒
 TEL(044)711-8855
 事務所 川崎市中原区小杉町 3-428
 山協ビル 402 号
 TEL(044)722-4331 FAX(044)722-6334
 E-mail : k-naka@galaxy.ocn.ne.jp
 URL:http://www.kawanaka-rc.com

例 会 報 告

開会点鐘	富岡 昭一 会長
司 会	長戸 隆彦 SAA
合 唱	「我らの生業」
お客様紹介	上原 伸一親睦活動委員

【本日の欠席者】

三木 治一会員 市川 宏 会員 松田 敏治会員
 小林 敏伸会員 大友 徹 会員 長谷川俊雄会員
 白井 正男会員

ニコニココーナー

志村 修司副 SAA

横山 芳春様：お世話になります。

富岡 昭一会長：鶴見大学 鶴本明久様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

渡邊 新治幹事：鶴本明久様、卓話拝聴させていただきました。本日もよろしくお願ひいたします。

伊藤 文治会員：鶴本明久様、ご多忙の中卓話を頂きありがとうございます。

川口 禮敬会員：鶴本明久先生卓話ありがとうございます。拝聴させていただきます。

堀一 慶明会員：鶴見大学教授 鶴本明久様。本日の卓話、よろしくお願ひ致します。

金子 利昭会員：鶴見大学 鶴本明久教授卓話、よろしくお願ひ致します。

小島 徹 会員：鶴本明久様、本日はお忙しい中ありがとうございました。うちの息子が大学でお世話になっています。よろしくお願ひ致します。

ゲストスピーカー 鶴本 明久 様	鶴見大学 教授
ゲスト 横山 芳春 様	川崎北ロータリークラブ

今後のプログラム予定

4 月	プログラム名
第 1 例会 4 月 4 日	会員お祝い 新会員卓話 原 敏之会員 理事・役員会
第 2 例会 4 月 11 日	卓話 川崎市歯科医師会 学校歯科医 川越元久氏

出 席 報 告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率		
45 名	38 名	7 名 対象外 (6)	97.44%	欠 6 名 対象外 (3)	MU0 名	92.86%

田邊 進 会員：鶴本先生、卓話ご苦勞様です。よろしくお願ひします。

中山 武夫会員：本日の卓話 鶴本教授のお話勉強させていただきます。

細山勝三郎会員：鶴本先生ありがとうございます。むし歯と水道水って面白いテーマですね。楽しみにしています。

小丸日出夫会員：鶴本明久様、本日は当クラブにお出で頂き誠にありがとうございます。今日の卓話のテーマにはとても興味があり、詳しくお話が聞けるのが楽しみであります。

長戸 隆彦会員：本日からスクリーンにて例会開始までに卓話スケジュールが投影されております。こちらを見てどしどしニコニコをおいれ下さいませ！

合計	13 件	13,000 円
累計	523 件	597,000 円

会 長 報 告 富岡 昭一会長

1.地区より「ロータリー経営大講演会」一般参加者へのお誘いのお知らせが届いております。

回覧いたしますので、ご活用の際は事務局までご連絡願ひします。

2.次年度地区幹事より 4/2 の地区研修・協議会出席者への名刺持参のお願いが届いております。

*出席義務者の次年度会長・幹事・各委員長+新会員の皆様は(日頃より多めに)ご持参願ひします。

2.川崎中原 R C より夜間移動例会(観桜会)のお知らせが届いております。

日 時：3月30日(木) 18:30~

場 所：クィーン・アリスガーデンテラス日吉

詳細は回覧いたしますので、参加を希望の方は事務局までご連絡願ひします。

3.横浜東 R A C より4月第一例会のご案内が届いております。

日 時：4月2日(日) 12:00~14:00

場 所：墨田公園(11:30分バーガーキング浅草橋 吾妻橋店前集合)

詳細は回覧いたしますので、登録ご希望の方は事務局までご連絡願ひします。

4.年会費納入の願ひ

年会費(4~6月分)79,000円を4/3(月)に、ご指定の口座より引き落としさせていただきます。現金での納入の方は4月の例会時にお願ひいたします。

内訳 4~6月 75,000円

ロータリー大講演会 4,000円

79,000円

5.社会福祉法人 川崎いのちの電話より広報誌89号およびチャリティー寄席のご案内が届いております。ポスティングしております。

6.公益財団法人 川崎市国際交流協会より「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」の支援(寄付)のお礼状が届いております。詳細は回覧いたします。

幹 事 報 告 渡邊 新治幹事

1.例会変更

川崎高津 3月23日(木)夜間移動例会 点鐘 18:00
お花見夫人デー「フィオーレの森」

3月30日(日)休会

4月13日(木)→21(金)移動例会

4クラブ合同研修セミナー参加

4月20日(木)→22(土)移動例会

ロータリーディ(IM)参加

4月27日(木)夜間移動例会 点鐘 18:00

福住会員宅

川崎中央 3月20日(月)休会

4月3日(月)夜間移動例会 点鐘 18:30

お花見例会会 飯島会員宅

4月24日(月)→22日(土)移動例会

経営大講演会に参加 神奈川県民ホール 大ホール

横浜あざみ 3月15日(水)移動例会 点鐘 12:00

アートフォーラムあざみ野 セミナールーム

3月29日(水) 休会

横浜本牧 3月30日(木) 休会

2. 川崎中原RCより創立30周年記念式典の登録申込み
のお知らせが届いております。

日時: 5月20日(土) 登録 14:00~

式典・点鐘 14:50~

場所: ホテル精養軒

会費: 1万円(登録料)

*登録のみでもお受けいたします。

3.次週3/21(火)は、休会です。

4.再来週3/28(火)は、西明寺にて夜間移動例会(お花見)です。

5.本日例会終了後、クラブ協議会を開催いたします。関係各位のご出席をお願いいたします。

~本日の卓話~

鶴見大学 教授 鶴本 明久 様

演題: 「フッ化学によるむし歯予防と水道水」

ご紹介: 宇田プログラム委員長

委員会報告

小泉繁勝親睦活動委員長より、3/28(火)の夜間移動例会(西明寺でのお花見)のご案内がありました。

卓話



<宇田章二プログラム委員長のご紹介があり、鶴見大学教授 鶴本明久さまによる卓話がありました。>

プロフィール

1979年 東京医科歯科大学歯学部卒業

2001年 鶴見大学歯学部教授

<著書>

う蝕予防に活かせるエビデンス共著 2009年01月
クインテッセンス出版

スタンダード衛生・公衆衛生 [改訂].1版) 共著
2009年03月 学建書院

口腔保健推進ハンドブック共著

2009年09月医歯薬出版社

新予防歯科学(第4版) 共著

2010年03月 医歯薬出版社

医師・歯科医師のための「口腔診療必携」 共著

2010年10月 金原出版社

スタンダード衛生・公衆衛生(第12版) 共著

2011年03月 学建書院

フッ化物応用における環境汚染の危険性 共著

2014年01月 医歯薬出版

<鶴見大学歯学部>

1970年に設立され、「大覚円成、報恩行持(だいがくえんじょう、ほうおんぎょうじ)」、現代的に訳せば、「感謝の心育んで、いのち輝く人となる」という建学の精神を礎とし、さらに初代歯学部長である長尾 優先生が遺された「敬愛を敦くし、以て醫の心と為す」との銘に従い、これまで実に5400名余の優れた人材を社会に輩出して

きた伝統のある学部です。

<講座：地域歯科保健学>

歯科疾患の予防方法は格段に進歩しており、治療が必要な状態にならないように、人々の歯やお口の健康をまもる診療の部分が多くなってきました。100歳まで、自分のきれいな歯で何でも噛めて味わえるという「生活の質（QOL）」をサポートする歯科医療です。まず私達の教室の使命は、そうした健康づくりのための口腔保健に貢献することです。

私達は、虫歯や歯周病の予防方法も研究していますが、それらの有効な予防方法を地域でどのように応用していくかということも重要な研究の課題です。有効で安全であってすぐに応用されるものではなく、人々の価値観や社会経済的要因などが影響します。それらの理解を深めるために、歯科医療における「行動科」、「地域診断法」、「医療経済」などの分野も扱っています。

<フッ化学によるむし歯予防と水道水>

1. 虫歯の予防方法

虫歯の成り立ちについては概ね解明されており、したがってその予防法も確立されている。つまり、むし歯発生の三大要因である原因菌、糖類、歯質について対策を施せば虫歯は予防できる。それぞれの対策とは、ブラークコントロール、糖類の制限それからフッ化物の応用である。これらの中で、有効性が確実に証明されているのはフッ化物の応用である。しかし、わが国においては「ブラッシング」があまりに強調され過ぎていて、フッ化物の応用が諸外国と比較してもかなり遅れている。合理的な虫歯の予防対策がわが国ではとられていないことを示している。何故、このような状況になったのかについていろいろと説明されているが、いずれにしても放置してよい問題ではない。

2. フッ化物応用の歴史

むし歯とフッ化物についての研究は、今から100年ほど前に遡るが、マッケイという若い歯科医の丁寧な疫学研究から始まる。その後、膨大な研究が行われ、全身応用、局所応用と様々な方法が考えられている。わが国では、あまり知られていないが、米国やオーストラリアなどで盛んに実施されているウォーター・フロリデーショ

ン（水道水フッ化物濃度調整法）が全身応用の典型的な方法であるが、現在では全世界で4億3千万人の住民がその恩恵にあずかっている。上水道の普及率を考えるとかなりの実施数と考えられる。わが国では局所応用のみが応用可能であるが、一般的に応用が遅れている。世界で行われているむし歯予防対策を考えても「フッ化物を使わない対策」は、科学的にも、社会経済学的にも非常識な状況といえる。

3. これからの歯科保健対策

いうまでもなく「少子高齢化」はわが国の喫緊の重要な課題である。歯科保健についても「高齢化」の問題は重大で、簡単に述べると「歯根面う蝕（歯肉の退縮にともない歯根部が露出しむし歯発生する）」対策が大きな課題である事を衛生統計が示してくれる。この対策についても「フッ化物応用」が大きな役割を担う。わが国においては、「ゆりかごから墓場まで」の歯科保健対策、その重要な要素としてすべてのライフステージでのフッ化物の合理的利用を考えなければならない。

鶴本明久先生、虫歯の予防方法と水道水の関係について大変勉強になりました。

ありがとうございました。（会報委員長 叶野 聡）